

(2) 地震や台風の時

① 地震

日本は、地震が多い国です。

地震のあとに、津波がくるかもしれません。

前もって、準備をします。

- 家具が倒れないように、とめます。
- 家具の上に、重いものや、壊れるものを置きません。
- かばんの中に、水や、食べもの、生活で使うものを入れて、家に置いておきます

A 地震が起きたら

家や建物の中にいるとき

- 机の下に入ります。
- クッションなどで頭を守ります。
- 料理で火を使っているときは、ゆれがおわってから、火を消します。
 - ドアが開かなくなるかもしれません。外に出ることができるように、ドアを開けます。

エレベーターの中にいるとき

- すべてのボタンを押します。とまったところで、降ります。
- ドアが開かないときは、「非常用連絡ボタン」を押して、外にいる人に助けてもらいます。

外にいるとき

- 壁や建物が倒れます。上から物が落ちてきます。壁や建物の近くに行きません。
- 建物のない、広い場所に逃げます。

自動車を運転しているとき

- 急に車をとめると、事故を起こすかもしれません。ゆっくりとスピードを落として、道の左がわに車をとめます。

電車やバスに乗っているとき

- つり革や手すりに、しっかりとつかまります。
- 電車がとまっても、勝手に外に出てはいけません。電車やバスの会社の人の言うことを聞きます。

海や川の近くにいるとき

- 津波がくるかもしれません。すぐに高い場所に逃げます。

B 地震のあと、ゆれが終わったら

地震のあと、火事になることがよくあります

- ガスの元栓を閉めます。
- 電気のブレーカーを切ります。

大きい地震のあと、何回も小さな地震が起きることがあります

- 落ち着いて、逃げます。大切なものだけを持って、外に出ます。
- 建物の中や外は、ものが倒れたり、ガラスが割れているかもしれません。必ず、靴を履きます。
- エレベーターは使いません。階段を使います。
- 近くに住む人と、助け合います。
- 避難所（逃げる場所）に行きます。

② 台風・集中豪雨

台風は、7月から10月の間に、日本によく来ます。

強い風が吹いて、雨がたくさん降ります。

集中豪雨は、短い時間に、ひとつの場所に、たくさん雨が降ることです。

台風や集中豪雨のときに起きること

- たくさん雨が降ると、山の土が急に下に落ちてくることがあります。
川の水があふれて、家の中に水が入ってくることがあります。
- 強い風で、物が飛んできます。当たると、けがをします。
- 電気が止まります。

台風や集中豪雨のときにすること

- ベランダに物を置きません。前もって、家の中に入れておきます。
- テレビやラジオで、今の情報を確認します。
- 物が飛んできて、窓ガラスが割れるときがあります。窓の近くには行きません。
- 海や川の近くには行きません。
- 台風が近づいているときや、たくさん雨が降っているときは、外に出ません。
- 外にいるときは、近くの安全な建物の中に逃げます。
- 前もって準備しておいた、水や生活に必要なものが入ったかばんを近くにおいて、逃げる準備をします。
- 家の近くにある避難所を確認します。

泉佐野市の「もしもの時の防災ガイド」の中に、逃げるときに気をつけることや、逃げる場所（避難場所）が書いてありま

す。確認しておきます。